

多自然川づくり取り組み事例

タ イ ト ル : 改良復旧事業における地域環境を活かした河道整備		
水 系 / 河 川 名 : 安家川水系/安家川	河 川 分 類 : 中小河川	
河川の流域面積 : 224.1km ²	整備計画流量 : 800m ³ /s (W=1/30)	セグメント : M
事 業 : 河川改修	事業開始年度 平成28年度	
目 標 設 定 : 定性的	段 階 : P(計画時)	
課題・目的(主な): 流下能力の確保、貴重種、特定動植物の保全、縦断的連続性の保全・再生・創出		
工 法 (主 な) : 掘削(高水敷)、掘削(低水路)、掘削(河床)、護岸整備、移植、植樹		
配慮事項(主な): 河川景観への配慮、委員会、協議会等の開催		

背景・課題、目標設定

<背景>

安家川流域はそのほとんどを森林が占めており、住宅地域は安家地区の安家川沿いに立地している。安家地区においては住宅のほか、岩泉町役場安家支所や小・中学校等が存している。また、河川沿いは河畔林に覆われ良好な環境が保たれており、河川のほぼ全域にカワシンジュガイが生息し、ヤマメやエゾイワナなどの渓流魚も多く生息している。さらに、中流域の地質は石灰岩が分布しており、イチョウシダやチチブミネバリ等の石灰岩植物も確認されている。

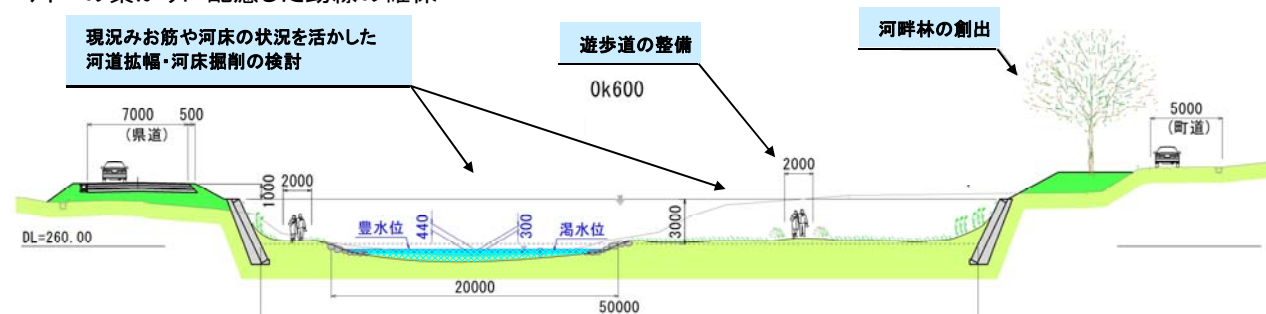
しかし、平成28年8月の台風第10号豪雨に伴う洪水により溢水し、安家地区を中心に家屋浸水や農地浸水が発生した。このため、早急に治水安全度の向上を図ることとし、改良復旧と合わせて地域環境を保全・継承していく必要がある。

<目標>

台風第10号災害の改良復旧に併せ、多自然川づくりに取り組み、河積の拡大や現況を活かした河川環境の維持、河畔林の保全・創出、親水エリアの確保等を目標とする。

取り組み内容・対策例

- ・現況みお筋や河床の状況を活かした河道拡幅・河床掘削の検討
- ・河畔林保全・再生による河川環境の保全
- ・川への繋がりに配慮した動線の確保



モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

改良復旧にあたり、多自然川づくりアドバイザーの助言を踏まえるとともに、安家川河川整備連絡協議会を設置し、地域に暮らす方々、有識者、学識経験者等から意見を伺いながら、河道計画の検討を進めた。

【設立趣意】

- ・治水対策を進めるに当たり、河川改修により再度災害防止を図ると共に、ソフト対策を一体的に行う必要がある。
- ・豊かな自然環境に囲まれた清流として、地域の生活や営みに密接に関わっており、地域に親しまれる川として継承していくことも重要である。
- ・「ソフト・ハード対策が一体となった再度災害防止」、「自然豊かな清流、地域に親しまれる川の継承」の実現のため、地域に暮らす方々や多様な分野の方々からの意見を伺いながら検討を進めることとし、学識経験者、地元有識者及び住民の代表者等からなる、「安家川河川整備連絡協議会」を設立することとしたもの。



第1回 安家川河川整備連絡協議会
(平成29年3月13日)

備考

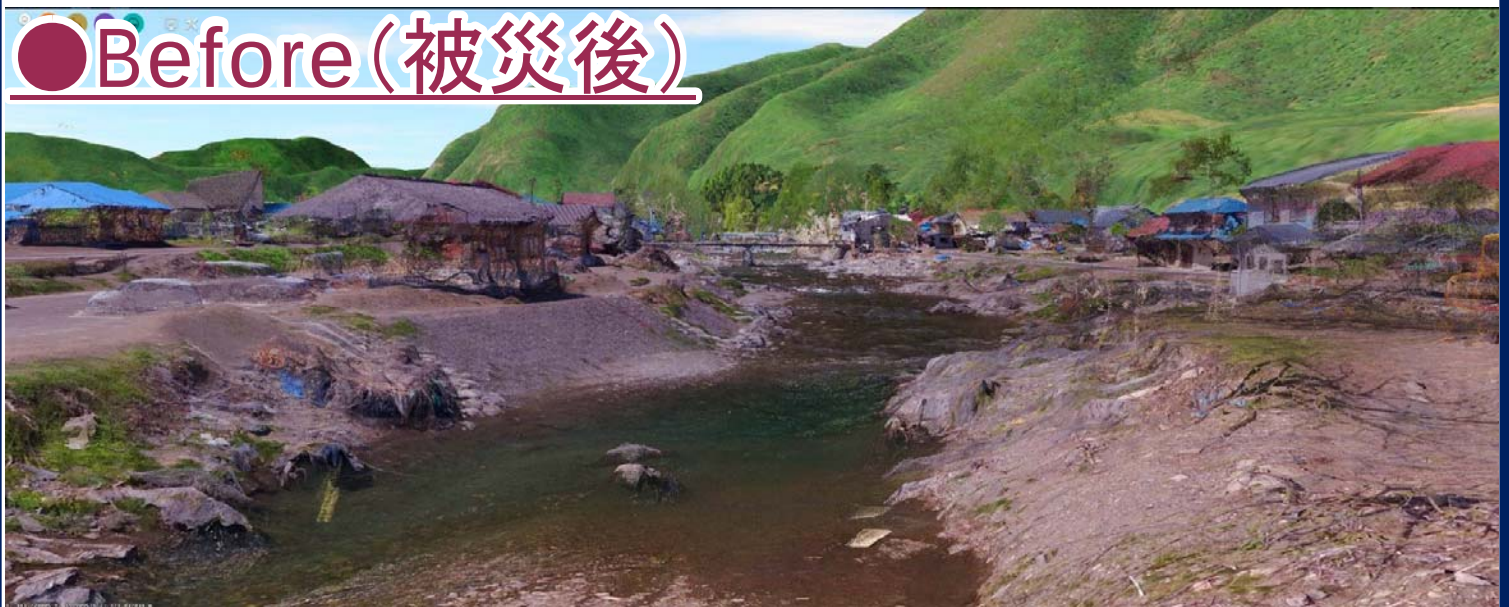
問い合わせ先 岩手県県土整備部河川課

電話番号 019-629-5903

改良復旧事業における地域環境を活かした河道整備

Keywords : 地域環境の保全, 親水エリアの確保, 協議会の開催

●Before(被災後)



●After(予定)



※イメージ図

平成28年の台風第10号豪雨に伴う洪水により、安家地区を中心に家屋浸水や農地浸水が発生し、治水安全度の向上と地域環境を保全・継承していく必要がある。改良復旧に併せ、多自然川づくりに取り組み、河積の拡大や現況を活かした河川環境の維持、河畔林の保全・創出、親水エリアの確保等を目標とした事例を報告する。